

**TAKEUCHI**

---

**2012年2月期  
決算説明資料**

**2012年4月24日**

---

**「次世代のグローバルスタンダードを目指して」**

**株式会社 竹内製作所**

**証券コード:6432**

- ▶ **I. 12年2月期 決算概要**
- ▶ **II. 13年2月期 見通し**
- ▶ **III. 今後の市場見通しと重点取組み**

## ▶▶ ポイント

### (1) 米国及び欧州で需要が増加

- 販売台数は19.4%増(対前期比)
- 連結売上高は15.3%増(対前期比)

### (2) 販売台数増加及び製品の値上げなどにより増益

円高進むも売上増加及び値上げなどにより増益

- 営業利益は19倍(対前期比)

# I. 12年2月期決算概要

**TAKEUCHI**

## ▶▶ 連結実績

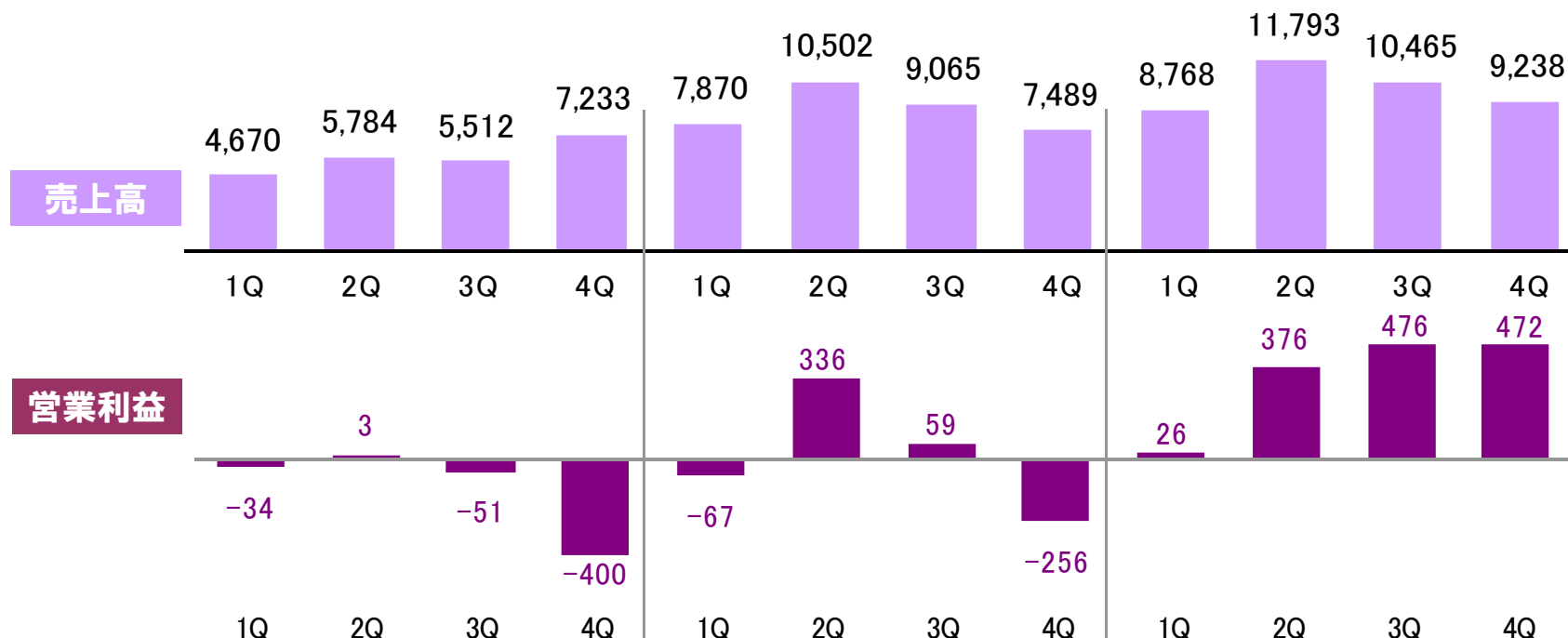
単位:百万円

	12/2期 実績	11/2期 実績	対前期 伸び率	12/2期 修正予想	対修正予想 増減額
売上高	40,265	34,928	15.3%	39,700	565
営業利益	1,351	71	19倍	580	771
経常利益	916	▲872	-	▲390	1,306
当期利益	440	▲1,299	-	▲780	1,220
設備投資額	286	188	52.1%		
減価償却費	710	748	▲5.1%		
受注高	44,701	37,916	17.9%		
受注残高	11,031	6,595	67.3%		

# I. 12年2月期決算概要

## ▶▶ 四半期毎の売上高・営業利益推移

単位: 百万円、%



	2010年2月期				2011年2月期				2012年2月期			
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円 / 米ドル	95.20	96.76	92.81	90.12	90.75	91.29	85.03	82.22	82.33	81.23	77.08	78.04
円 / 英ポンド	135.77	152.77	150.93	147.09	140.52	136.37	132.92	128.91	131.81	133.47	124.09	122.58
円 / ユーロ	123.20	133.45	132.97	132.60	123.71	114.83	111.45	110.39	113.77	118.29	108.74	105.06
円 / 人民元	13.92	14.17	13.59	13.20	13.29	13.39	12.58	12.35	12.52	12.52	12.05	12.31

# I. 12年2月期決算概要

**TAKEUCHI**

## ▶▶ 地域別売上高

単位：百万円

	12/2期		11/2期		対前期 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
日 本	1,529	3.8%	1,413	4.0%	116
北 米	12,038	29.9%	9,245	26.5%	2,793
欧 州	22,408	55.7%	18,425	52.8%	3,983
ア ジ ア	3,227	8.0%	4,815	13.8%	▲1,588
そ の 他	1,060	2.6%	1,028	2.9%	32
売 上 高	40,265	100.0%	34,928	100.0%	5,337
海外売上高	38,736	96.2%	33,514	96.0%	5,222

# I. 12年2月期決算概要

**TAKEUCHI**

## ▶▶ 所在地別セグメント情報

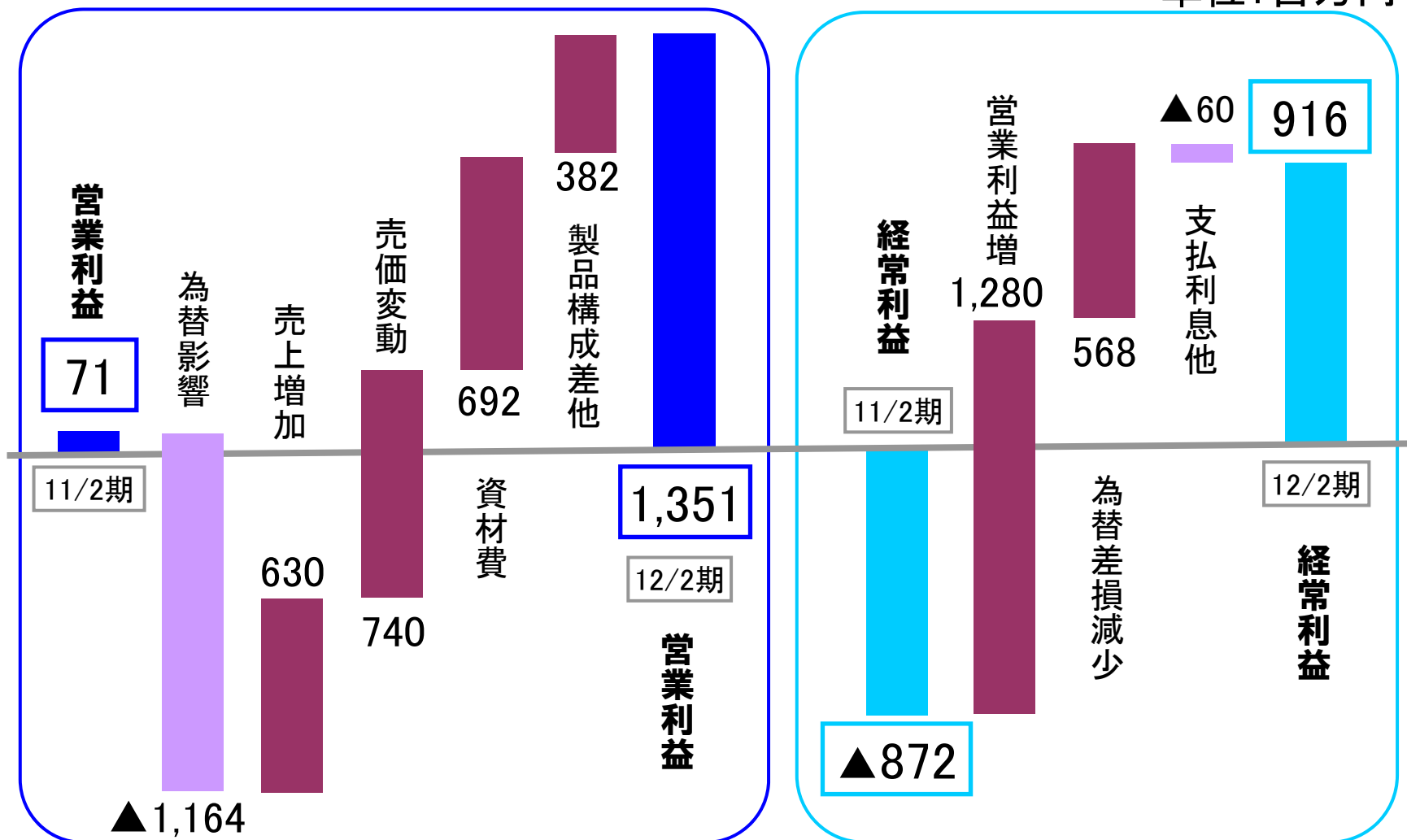
単位:百万円

		12/2期	11/2期	対前期 増減額
日 本	売 上 高	36,725	28,759	7,966
	セグメント利益	1,199	▲604	1,803
米 国	売 上 高	11,649	8,697	2,952
	セグメント利益	801	515	286
英 国	売 上 高	3,143	3,632	▲489
	セグメント利益	102	147	▲45
フランス	売 上 高	2,794	2,562	232
	セグメント利益	227	112	115
中 国	売 上 高	3,204	4,825	▲1,621
	セグメント利益	▲152	55	▲207

# I. 12年2月期決算概要

## ▶▶ 連結損益増減要因

単位：百万円





# I. 12年2月期決算概要

**TAKEUCHI**

## ▶▶ 連結貸借対照表

単位：百万円

	12/2月末	構成比	11/2月末	構成比	増減額
流動資産	39,110	83.9%	34,832	81.5%	4,278
現金及び預金	7,155		9,415		▲2,260
受取手形及び売掛金	20,570		14,870		5,700
たな卸資産	11,076		10,073		1,003
固定資産	7,522	16.1%	7,910	18.5%	▲388
資産合計	46,633	100.0%	42,743	100.0%	3,890
流動負債	19,684	42.2%	15,958	37.3%	3,726
支払手形及び買掛金	15,364		13,209		2,155
短期借入金(1年内長期含む)	2,633		1,103		1,530
固定負債	508	1.1%	411	1.0%	97
長期借入金	—		—		
負債合計	20,192	43.3%	16,370	38.3%	3,822
純資産合計	26,440	56.7%	26,372	61.7%	68
負債純資産合計	46,633	100.0%	42,743	100.0%	3,890

# I. 12年2月期決算概要

**TAKEUCHI**

## ▶▶ 連結キャッシュフロー計算書

単位: 百万円

	12/2期	11/2期	増減額
営業キャッシュフロー	▲2,880	2,795	▲5,675
投資キャッシュフロー	▲234	179	▲413
財務キャッシュフロー	1,530	▲871	2,401
現金及び同等物に係る換算差額	▲475	▲421	▲54
現金及び同等物の増減額	▲2,060	1,682	▲3,742
現金及び同等物の期末残高	6,657	8,717	▲2,060

### ▶▶ 業績見通しのポイント

#### (1) 需要動向

- 米国市場は緩やかに回復し需要の増加が見込まれる
- 欧州市場は債務問題の長期化などにより需要は減少
- 中国市場は金融引き締めと不動産投資規制が徐々に緩和され販売台数は微増

#### (2) 販売台数の見通し

- 販売台数は横ばい
- 連結売上高は0.3%増(対前期比)

#### (3) 利益見通し

- 円高の進展により粗利益率は0.2ポイント減(対前期比)
- 当期純利益は2.4倍(対前期比)

## II. 13年2月期の見通しについて

**TAKEUCHI**

### ▶▶ 連結業績

単位：百万円

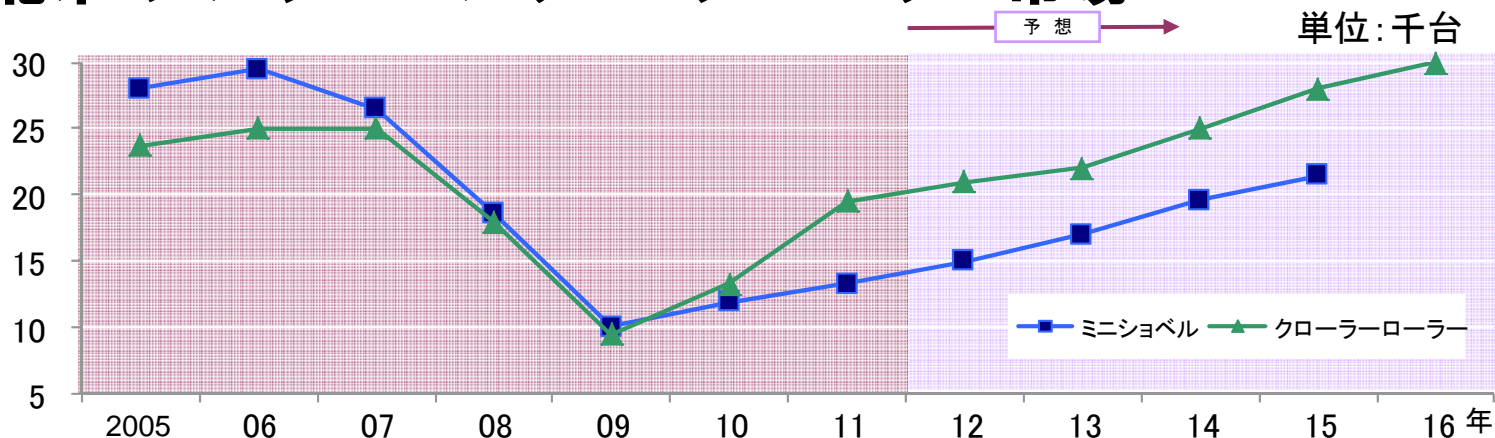
	13/2期予想			12/2期	
	通期予想	前年同期比 増減率	上期予想	下期予想	実績
売上高	40,400	0.3%	22,600	17,800	40,265
営業利益	1,270	▲6.0%	820	450	1,351
経常利益	1,370	49.5%	890	480	916
当期利益	1,050	138.6%	720	330	440
設備投資額	460	60.8%	70	390	286
減価償却費	652	▲8.2%	260	392	710

想定為替レート	通期
円／米ドル	80.00
円／英ポンド	128.00
円／ユーロ	105.00
円／人民元	12.60

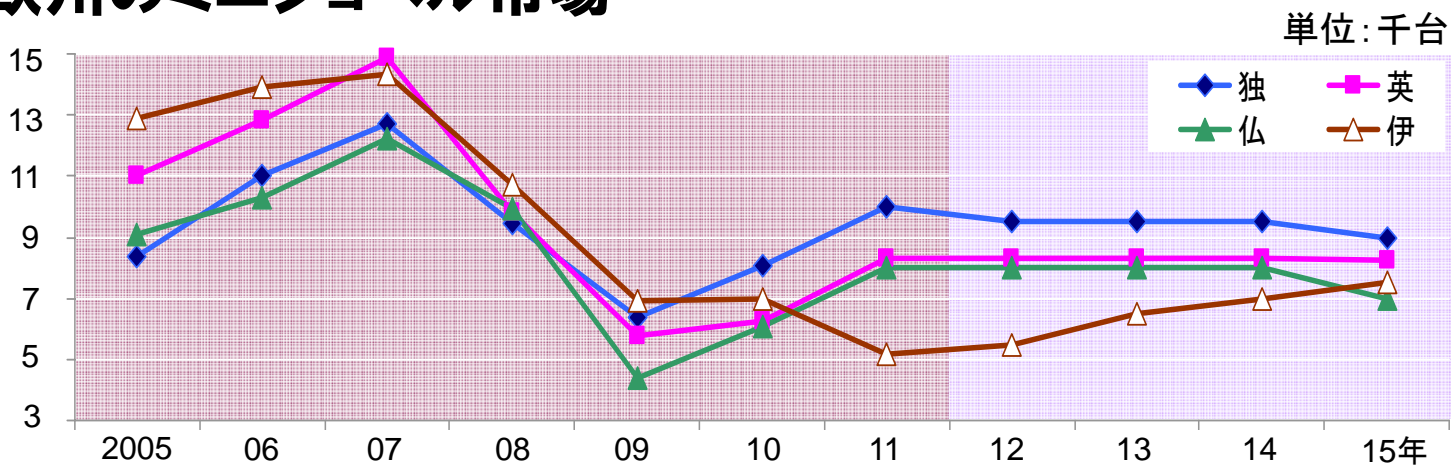
# III. 今後の市場見通しと重点取組み



## ▶▶ 北米のミニショベル・クローラーローダー市場



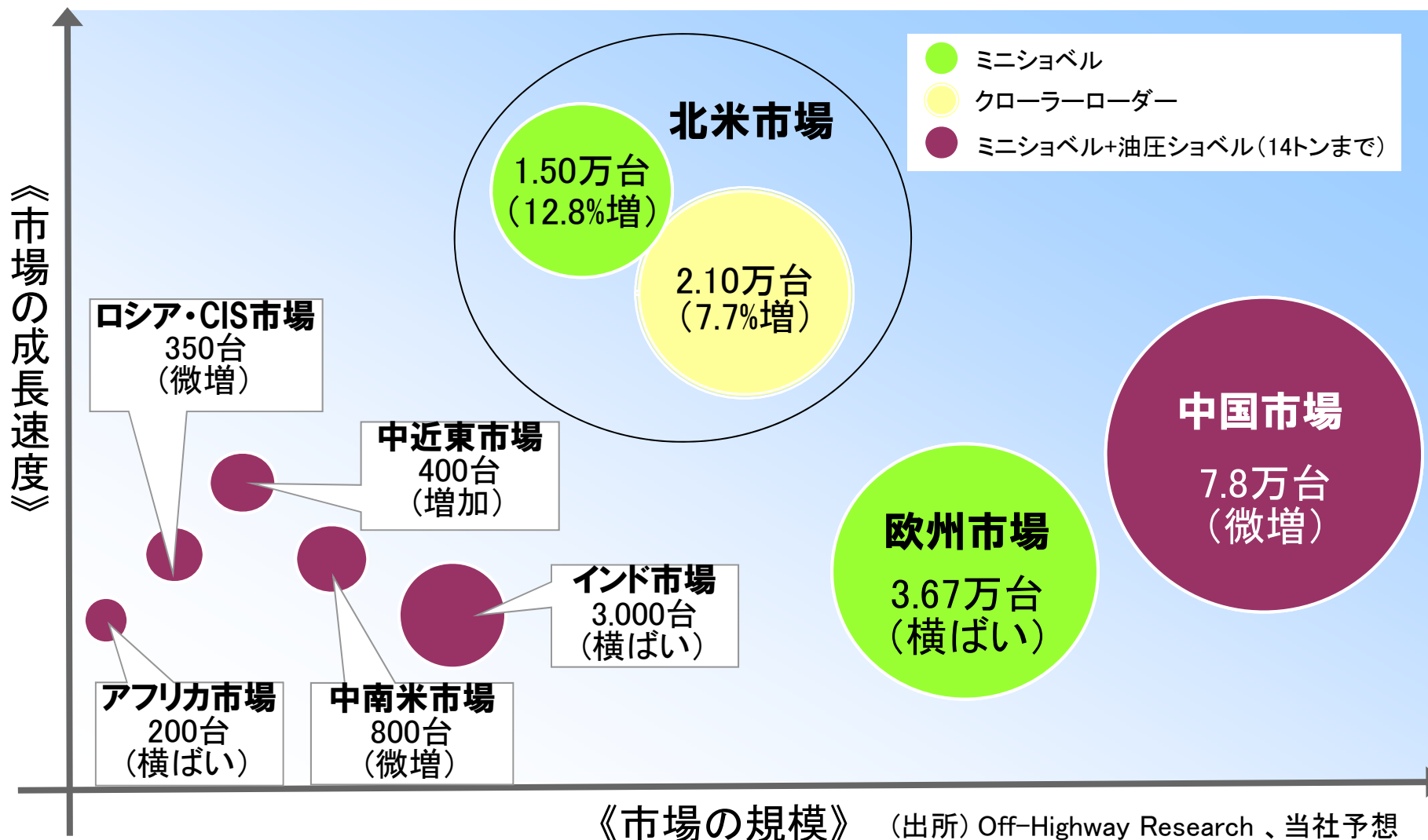
## ▶▶ 欧州のミニショベル市場



(出所)ミニショベルは11年7月時点のOff-Highway Research社と当社予想、クローラーローダーは12年2月時点

### III. 今後の市場見通しと重点取組み

## ▶▶ 2012年の市場見通し概観(カッコ内は前年比伸び率)



### III. 今後の市場見通しと重点取組み

**TAKEUCHI**

#### 1. 開発

- リチウムイオンバッテリー式ミニショベルの商品化
- 出力帯別の規制に合わせた第4次排気ガス規制対応
- 新機種の開発、モデルチェンジ



リチウムイオン  
バッテリー式  
TB117E



新機種  
TB285



# III. 今後の市場見通しと重点取組み



## 2. 販売

### (1) 先進国市場

- 米国及び欧州市場は、商品レンジの拡充による販売強化
- 日本市場は、リチウムイオンバッテリー式ミニショベル及びクローラーローダーを戦略商品として投入

### (2) 新興国市場

- 新興国市場の開拓
  - ① 豊田通商との業務提携効果による中国を除く新興国市場の開拓
  - ② 重点地域(東南アジア、ロシア、ラテンアメリカ)
- 中国現地法人の機能強化
  - ① 中国市場戦略
    - i. モデルチェンジ機の投入
    - ii. 代理店の体制強化と再編
    - iii. 代理店への支援強化
    - iv. 現地調達率の増加
    - v. 部品販売の強化
  - ② 役割の拡充
    - i. 中国市場向けの製品の生産に加えて新興国向けの製品供給拠点
    - ii. 日本への部材の供給拠点

### (3) 補修部品の販売強化

- 第2純正部品の拡大など補修部品の販売強化



# III. 今後の市場見通しと重点取組み



## 3. コスト低減

### (1) クローラーローダーを米国でセミノックダウン生産

- 2013年より生産開始
- 米国竹内(100%子会社)にて生産



クローラーローダー

### (2) 部材の海外調達比率の引き上げ

- 現在8%の部材の海外調達比率を2015年2月末までに20%に引き上げ



米国竹内

### (3) 物流費の削減

- バンニングの内製化
- 国内物流の見直し

## 4. 業務変革

- 業務の標準化とIT化による効率向上



バンニング

## お問い合わせ先

株式会社 竹内製作所  
総務部

TEL:0268-71-8001

FAX:0268-81-1127

E-mail: [ir@takeuchi-mfg.com](mailto:ir@takeuchi-mfg.com)

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。